

女子の新制服を機械工学科1年生が披露(平成26年11月15日)

機械工学科1年生の澤丸陽佳さんが、米子高専創立50年を機に新しくなった制服の女子披露役選ばれ、創立50周年記念式典の壇上に登りました。澤丸さんは、在校約1000名の学生代表としてやや緊張の面持ちでしたが、半世紀に一度の大役を無事に務めました。式典では、新調された校旗の継承式も行われ、学生会長である機械工学科5年の清水達暉君が受け取りました。

※澤丸陽佳さんは、米子高専ガイドブック2014にも新制服を着用した姿で登場しています。



新制服の披露式



新調校旗の継承式

機械工学科

未来を支えるエンジニアに!

機械工学では、動力学、流体力学、材料力学、機械力学の応用工学を基礎とし、コンピュータ化に対応したハードウェアとソフトウェア技術を学びます。身の回りにある工業製品は、すべて機械によって造られていて、機械工学は技術社会を支える基盤といえます。毎年多くの人が知り、使われ、改良、進化、電機、電機制御システムなどはもちろん、航空、宇宙技術などの化学系や電力、ガスなどのエネルギー系など幅広く活躍を遂行することができます。また、日本の発展もしっかり心がければ、海外に大学、習熟員などへもた分合格で送ります。高専ロボコンにも力を入れており、機械工学科の学生を主体として1年から5年までのゲームを作っています。

先輩か

機械工学科 1年

澤丸 陽佳 (さわまる ひろか)
福井中学校 出身

医療現場の事務や生研に携わる仕事に就くことが夢で、その専門分野が早い時期から学べる米子高等専門学校を選んだ。クラスの中で女子は先代ですが、親戚からでる先生や先輩が、クラスの仲間に加えられて毎日楽しく学生生活を過ごすことができている。また、夏祭大会で各所に行けることが強力で、先輩仲間に入り、日々頑張っています。

米子高専ガイドブック2014
「先輩からのメッセージ」